

診療室や待合に開放感を

日ごろ、私たちが生活している空間では、天井がどんな色でどんな模様かを気にしている人はあまりいないと思います。しかし、長い入院生活を送る患者さんにとっては、ベッドから毎日見上げる天井がどのようなものであるかは、精神状態を左右する大きな問題です。

また、MRI検査室の空間は、閉所恐怖症の人でなくても不安を感じる場所です。歯科医院でいえば、X線レントゲン室なども閉塞感があります。これらの空間や診療ユニットから見上げる天井や前面の壁といった、窓のない場所に空や自然の風景が見えたらどうでしょうか。

今回は診察室や待合などを、より開放的に、自然を身近に感じられる空間へと一変させてくれるシステムをご紹介します。

空の画像が与える影響

アメリカのテキサス工科大学・神経画像研究所はSky Factory（スカイファクト

インテリア医学の

快適空間を科学する

実践・ヒト・モノ・環境



乾 真理子

メディカル・スペースデザイン(株)
代表取締役

医療施設専門
インテリアコーディネーター
1級カラーコーディネーター

vol.63

「バーチャル天井」の活用

リー」と提携して、鮮明な空の画像が与える神経への影響を研究しました。その結果、研究者を驚かせるレベルで脳の活性化につながることが分かりました。

天井に設置したウィンドウディスプレイに、晴れわたる青空と白い雲の写真、そして程良い昼の光を生み出す照明を組み合わせたシステムは、心地良い開放的な気分を誘います。そのリアルさは、7

歳の女の子が歯科医師の先生に、「雨が降ったらどうするの？」と質問したという話があるほどです。

また写真だけでなく、映像と音で自然環境を再現することができるシステムもあります。流れる雲や風になびく木々、空を舞う鳥、壁のウィンドウでは海岸に打ち寄せる波、川の流れや滝など、動きのある自然の風景を楽しむこともできま



す。

限られた立地条件では、窓の確保、ましてや外の風景まで考えるのはとても難しいものですが、その悪条件を、テクノロジーをうまく取り入れることでカバーできるので。人が自然とつながることによって生まれる心地良さや精神の安定、活力が治療効果を上げてくれることでしょう。



『ルミナス スカイシーリング』の施工例

Sky Factory (スカイファクトリー) は2002年に米国で設立され、ヘルスケア業界において高い評価を得ています。

『ルミナス スカイシーリング』は、実際の空から受ける視覚的刺激を細部に至るまで忠実に再現します。人間と自然の本来のつながりを活性化し、「快適さ」「精神的安定」「活力」などのリラクゼーション効果を促進。また、室内を「より開放的な、自然を身近に感じる空間」へと一変させます。



仕組み

- ① 白昼の太陽光に近い発色をするT5蛍光灯またはエコスリムLED照明。
- ② アクリルパネルを使用した半透明の高解像度の写真。
- ③ アクリルパネルを支え、本物の空のような開放感を生み出すグリッド。





本当の窓を思わせる、壁面に設置する『ルミナス バーチャル ウィンドウ』も。



『ルミナス スカイシーリング』は「バイオフィリア」に基づいてデザインされています。「バイオフィリア」とは、人類が長い年数をかけて進化してきた結果、人が生来自然に魅せられる性質を指します。

「バイオフィリア」の仮説は、なぜ自然が人の心身に多大な影響を与えるかを説明する助けとなっています。長年の研究から、実際のまたは模擬的な自然を見ることが、健康や幸福感に多大な利益をもたらすことが分かってきており、歯科医院においても不安を抱えた患者さんの気持ちを落ち着かせ、ストレスを軽減し、治療の手助けになると考えられます。